



生協には、商品を購入するだけでなく、人と人がつながって暮らしにハリや潤いがもたらされる場面があります。今回は、そんな組合員さんが自主的にイキイキと取り組まれている活動をご紹介します。

できること、やれることはやろう！ 良いことは巡りめぐってくる…！

一昨年に香川へ引越して来て、昨年の4月からコープ委員になって2年目になります。地区担当さんから声をかけてもらったときは、引越して来て間もないし幼い年子の子もがいたので、最初は迷ったんです。ただ、子どもが産まれて仕事も辞め、転居も繰り返した中で社会と遠ざかっている孤独感に襲われたのと同時に関心もあったので、主人と相談し、月1回のコープ委員会なら主人が休みを合わせるということで引き受けることにしました。広島の実家も生協ひろしまに加入していたので、コープは身近な存在でした。

最初は主人に休んでもらっていたのですが、休みが合わず子ども達を連れて参加したところ、皆さんが温かく迎えてくださって本当に助かりました。それからは、他の行事にも託児を利用し、

浅野大野コープ委員会
杉田 奈味さん



「コープ委員になってからは、子どもも一緒に参加できるようになりました。ママも一緒に参加して、みんなで楽しく活動しています！」

この4月から、週4日の仕事を始めました。コープ委員を退くことも考えましたが、「できる範囲でいいから一緒にやろうよ」と声をかけられ両立させています。振り返ると、引越してきた当初は本当に大変だったので、コープ委員会には助けられました。それは、私だけでなく子どもにとってもです。近くにおじいちゃん、おばあちゃんがないので、いろんな世代の方とふれあう機会にもなりました。

実家の母が、生協ひろしまでホームヘルパーや助け合いの会に参加し、障がい者のサポートや食事作りのボランティアをしていたのですが、当時は「子どもが寂しい思いをしているのに、なんでお金にもならんことをしよるんじやろう」と思っていました。子どもを育てるようになった今は、よく分かります。巡りめぐって、自分にも子どもにも良いことが巡ってくるんだろうなと。なので、私もできること、やれることはやろうと思っています。

◀芳樹(よしき)くん(右)、知音(しおん)ちゃん(左)



<浅野大野コープ委員会より>

杉田さんはこんな人！

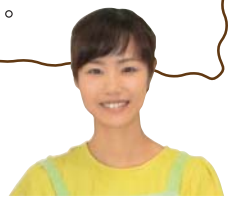
- 見た目が妖精っぽくて、讃岐の人じゃないって思いました。
- いろんなことを負担に思わずに楽しそうに活動するのがすごい！
- 子どもさん連れで参加してくれて元気をもらえる！



▲ 笑いが絶えずいつも和気あいあいと楽しく活動しています！

香川にずっといたいなあ。

香川はとても暮らしやすく、子どもも育てやすいです。緑があふれる公園が多いし、支援センターもたくさんあり選ぶことができます。また福祉の面でも免除があったり…と転勤族なんですが、香川にずっといたいなあと思うほどです。



コープ委員会では、みんなで話し合いながらこのような活動をしています。(開催内容・日時については、案内チラシや各店舗にてお知らせしています。)

月に1度のコープ委員会



8月を除く毎月、地区ごとにコープのお店や近くのコミュニティなどでコープ委員会を開いています。子どもさんを連れての参加も、もちろんOK!です。
[新北浜/町地区]

文化教室(試食交流会)



ホクトさんを迎え、きのこの秘密や家に届くまでの工程、使い方、きのこ料理の試食…と楽しく交流することができました。
[普通寺中央地区]

ふれあいの集い(メーカー学習会)



何回も参加されたことのある組合員さんから、「四国乳業さんの楽しいお話で、牛乳のこともよくわかりました。次回の学習会も待ち遠しいです。」という感想をいただきました。
[仁尾地区]